

U.S. Indicators

米国 世界的な需要回復とトランプ効果で上昇（17年1月ISM製造業景気指数）

発表日：2017年2月1日（水）

～雇用が最大の押し上げ要因～

第一生命経済研究所 経済調査部

桂畑 誠治

03-5221-5001

ISM製造業景気指数の推移

	総合	新規受注	生産	雇用	在庫	入荷遅延	受注残	仕入価格	輸出受注	輸入
16/01	48.6	52.3	50.9	46.2	43.5	50.1	43.0	33.5	47.0	51.0
16/02	49.7	52.1	52.9	48.6	45.0	50.0	48.5	38.5	46.5	49.0
16/03	51.7	57.1	55.7	48.5	47.0	50.4	51.0	51.5	52.0	49.5
16/04	50.7	54.9	54.6	49.2	45.5	49.1	50.5	59.0	52.5	50.0
16/05	51.0	54.8	52.7	49.3	45.0	53.3	47.0	63.5	52.5	50.0
16/06	52.8	55.6	54.8	50.0	48.5	54.9	52.5	60.5	53.5	52.0
16/07	52.3	56.1	54.8	49.3	49.5	51.8	48.0	55.0	52.5	52.0
16/08	49.4	48.9	49.3	48.7	49.0	51.2	45.5	53.0	52.5	47.0
16/09	51.7	55.0	53.3	50.0	49.5	50.8	49.5	53.0	52.0	49.0
16/10	52.0	54.1	54.4	51.8	47.5	52.2	45.5	54.5	52.5	52.0
16/11	53.5	54.8	55.6	52.5	49.0	55.5	49.0	54.5	52.0	50.5
16/12	54.5	60.3	59.4	52.8	47.0	53.0	49.0	65.5	56.0	50.5
17/01	56.0	60.4	61.4	56.1	48.5	53.6	49.5	69.0	54.5	50.0

(出所) ISM: the Institute for Supply Management

製造業景気指数は56.0 と前月比1.5%ポイント 上昇

17年1月のISM製造業景気指数（季節調整値）は、56.0と前月比1.5%ポイント上昇し、拡大縮小の分岐点である50を5カ月連続で上回った（市場予想中央値55.0、筆者予想55.3）。ISM製造業景気指数は、ドル高の影響を受けながらも、国内需要の堅調さのほか、原油価格の上昇による石油掘削リグの稼働数の増加、世界的な需要の回復、トランプ政権への期待等を背景に米国製造業の活動が活発化していることを示している。

総合指数を構成する項目では、生産、新規受注、雇用、在庫、入荷遅延の全項目が前月から上昇した。構成項目別の総合指数への寄与度をみると、雇用（前月比+0.66%p）、生産（前月比+0.40%p）、在庫（前月比+0.30%p）入荷遅延（前月比+0.12%p）、新規受注（前月比+0.02%p）が押し上げ寄与となり、総合指数は前月比1.5%ポイント上昇した。雇用が最大の押し上げ寄与になっているが、世界的な需要の拡大に加えて、トランプ政権への期待が雇用の増加につながっている可能性がある。

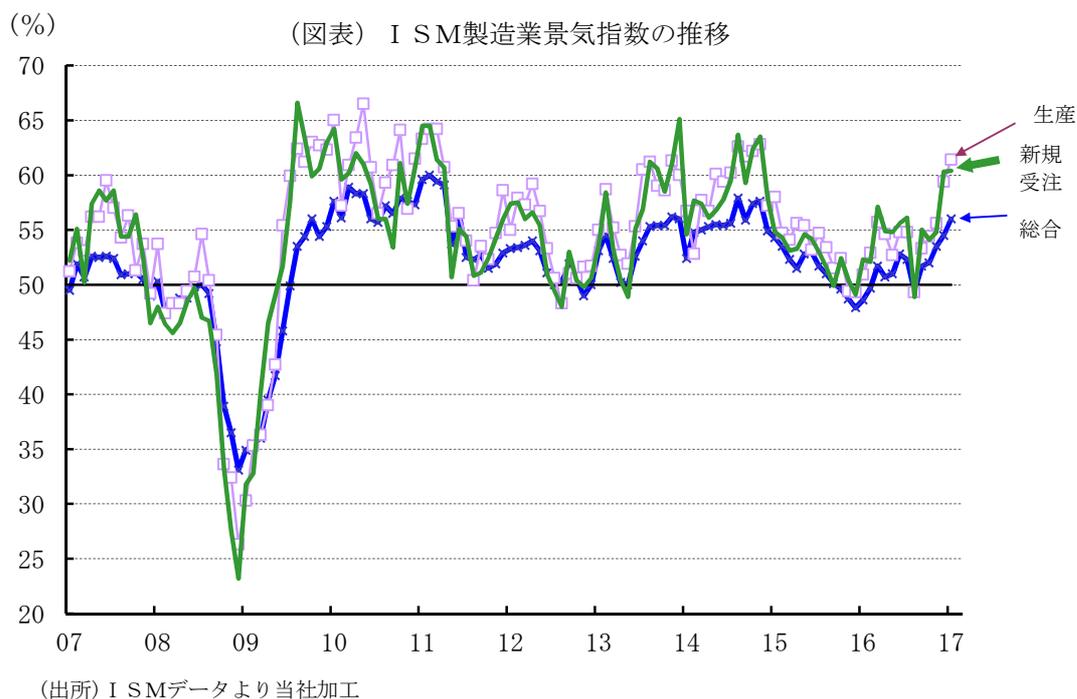
総合（全18業種、下線は拡大、縮小が2カ月以上続いたことを示す）で拡大した業種は、プラスチック・ゴム、その他製造業、アパレル、紙製品、化学製品、輸送機器、食品・飲料・タバコ、一般機械、石油・石炭、一次金属、加工金属、コンピューター・電子機器の12業種（前月11業種）と前月から増加した。素材関連の需要が強いほか、一般機械の受注環境が良好と、全般的に前向きな報告が行われた。一方、縮小した業種は、非鉄、木材製品、家具・同関連、電気設備・部品、印刷・関連サポート活動の5業種（6業種）と減少した。繊維は変わらず。

製造業景気指数は目先 高水準を維持も、ドル 高の影響等により緩やかな 拡大を示す水準に 低下する公算

今後、雇用・所得の拡大等を背景に個人消費を中心とした国内需要が堅調さを維持するほか、世界経済の拡大が続くとみられる一方で、ドル実効レートは米国景気への楽観的な見方の高まりや利上げペース加速期待の強まり、米国への資金還流等の影響を受け、高止まりすると予想される。このような中で、ISM製造業景気指数は、数か月間高い

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

水準を維持するものの、製造業の緩やかな拡大を示す水準に徐々に低下すると予想される。



【年次改定前】

I S M製造業景気指数の推移

	総合	新規受注	生産	雇用	在庫	入荷遅延	受注残	仕入価格	輸出受注	輸入
16/01	48.2	51.5	50.2	45.9	43.5	50.0	43.0	33.5	47.0	51.0
16/02	49.5	51.5	52.8	48.5	45.0	49.7	48.5	38.5	46.5	49.0
16/03	51.8	58.3	55.3	48.1	47.0	50.2	51.0	51.5	52.0	49.5
16/04	50.8	55.8	54.2	49.2	45.5	49.1	50.5	59.0	52.5	50.0
16/05	51.3	55.7	52.6	49.2	45.0	54.1	47.0	63.5	52.5	50.0
16/06	53.2	57.0	54.7	50.4	48.5	55.4	52.5	60.5	53.5	52.0
16/07	52.6	56.9	55.4	49.4	49.5	51.8	48.0	55.0	52.5	52.0
16/08	49.4	49.1	49.6	48.3	49.0	50.9	45.5	53.0	52.5	47.0
16/09	51.5	55.1	52.8	49.7	49.5	50.3	49.5	53.0	52.0	49.0
16/10	51.9	52.1	54.6	52.9	47.5	52.2	45.5	54.5	52.5	52.0
16/11	53.2	53.0	56.0	52.3	49.0	55.7	49.0	54.5	52.0	50.5
16/12	54.7	60.2	60.3	53.1	47.0	52.9	49.0	65.5	56.0	50.5

(出所) I S M : the Institute for Supply Management

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。